

庄川河川敷のサクラアリ

著者	根来 尚, 荒木 克昌
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	20
ページ	107
発行年	1997-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=682

短 報

庄川河川敷のサクラアリ*

根来 尚

富山市科学文化センター
939富山市西中野町1-8-31

荒木 克昌

アースコンサル (株)
930-01富山市呉羽町3078-117

富山県産のアリ類は、根来 (1994) により62種が報告され、また、翌年1種が追加され63種となった (根来, 1995)。

このほど、荒木による富山県西部の庄川河川敷昆虫調査によって、富山県未記録のアリ、サクラアリが発見されたので報告する。

サクラアリ *Paratrechina sakurae* (Ito,1914)

- 1ex. 1995年10月6日 新湊市庄西町庄川河原
荒木克昌採集
- 5exs. 1995年6月5日 新湊市高新大橋左岸庄川河原
荒木克昌採集
- 3exs. 1995年10月7日 大門町枇杷首庄川河原
荒木克昌採集
- 15exs.1995年8月1日 高岡市戸出中田橋庄川河原
荒木克昌採集
- 8exs. 1995年6月5日 砺波市八十歩庄川河原
荒木克昌採集
- 5exs. 1995年10月7日 庄川町舟戸橋右岸庄川河原
荒木克昌採集
- (全て働きアリである)

これらは、主にベイトトラップ (エチレングリコール, 糖蜜, 鳥肉) を用いて採集されたものであるが、ニセアカシアのビーティング (新湊市庄西町) や草本類のスイーピング (庄川町舟戸橋右岸) によっても得られた。

ベイトトラップは河原のイネ科草本部, ヤナギの低木林, 畑地に隣接するヨモギ等の原と, 完全な裸地を除き河川敷にみられる環境の代表的な部分数カ所に設置したが, 本種はそのいずれからでも得られた。

文 献

根来 尚, 1994. 富山県のアリ類. 富山市科学文化センター研究報告, (17):35-47.
———, 1995. 常願寺河原のアリ類2種. 富山市科学文化センター研究報告, (18):51.

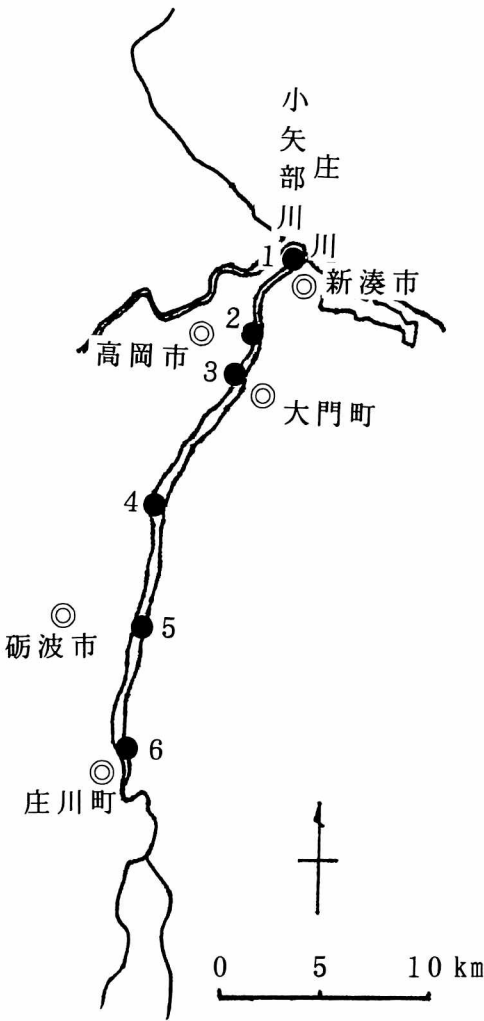


図1. サクラアリ採集地点

- 1.新湊市庄西町庄川河原,2.新湊市高新大橋左岸庄川河原,3.大門町枇杷首庄川河原,4.高岡市戸出中田橋庄川河原,5.砺波市八十歩庄川河原,6.庄川町舟戸橋右岸庄川河原.

* 富山市科学文化センター研究業績第186号